



あめ ぶ 雨が降るとき、 どうして雲が黒くなるの

くも 雲は、 たいよう ひかり 太陽の光を反射している

ふつう、空高く、青空の中にかんではいる雲は白く見えます。しかし、雲は、小さな水や、氷のつぶが空気中にかんではいるもので、もともと色はなく、とう明です。

雲をつくっている小さな水や氷のつぶは、空気のかぶの1万倍ぐらゐの大きさがあゐます。太陽の光が、空気よりもはるかに大きい雲のかぶにあたると、光がいろいろな方向に反射して、雲が白く見えます。

くろ み 黒く見える雲

雨が降るときは、わたしたちの真上に雲があゐます。わたしたちは、雲のいちばん底の所を見えています。雨を降らせる雨雲は、ふつう、低い所から高い所まで広がっている厚い雲です。

太陽の光は、厚い雲の上から下までは光を通しません。それで、下から雲を見たとき、雲が黒く見えるのです。しかし、雲のいちばん上では、白くかがやいています。

(監修・村山 貢司)

